

指導者（保護者）として大切にしたいこと（その26）

～「練習の大切さ」～

2021年1月吉日

U12部会広島地区SV 大庭浩資

広島県バスケットボール協会U12部会広島地区の保護者の皆様、指導者の皆様、役員の皆様、いつもお世話になっております。

2021年が始まりました。

年明け早々、広島県ミニバスケットボール大会の延期が決まるなど、今年もコロナウイルス感染対策を十分にとりながらの活動となりそうです。

子どもにとっても大人にとっても非常に厳しい状況ではありますが、感染で苦しむ人やその家族、また自らの感染リスクと隣り合わせの中で、強い使命感のもと、最前線で仕事をされている医療従事者の方々がおられる中、試合や大会のことはあまり考えず、私たち一人一人が、感染予防に努めなければなりません。

今は、いつでもどこでもだれでも感染する可能性があるという現実をしっかり受け止めて活動してまいりましょう。

さて年末から年始にかけて、いろいろなスポーツが行われ、おそらく皆様もテレビ等で観戦される機会も多かったことと思います。私もテレビに釘付けで多くの感動を覚えました。そしてスポーツの素晴らしさを改めて感じることができました。

もちろん、今の状況で大会開催そのものに反対する意見もあるでしょう。ただ、多くの人が家のテレビで「スポーツっていいな」と純粋に感じられたのではないのでしょうか。

そんな中で2つのスポーツについて、新聞記事を参考に私の所見を述べてみたいと思います。

キーワードは「逆転」と言いたいところですが、「練習の大切さ」にしました。いろいろな状況において、自分の持てる力を出すことがどれほど難しいか、逆に自分の力を出すことがどれほど大切か。また力を出すための裏付けは、やはり日々の練習にあることを教えてもらったような気がするからです。

## 「第95回 箱根駅伝」

駒沢大学の逆転で幕を閉じました。

1位を行く創価大学とは、復路は2分21秒の差でスタートしました。6区スタートでこの時間差なら、十分逆転も考えられましたが、9区を終えた時点で、差は3分19秒に広がりました。普通なら選手自体もまたチームとしても、優勝はあきらめるところでしょう。

アンカーの石川選手も順位は気にせず、「自分の力を出すこと」だけを考へて走ったそうです。実際の走りも、特段に良かったとか、タイムが以前より大幅に縮まったとかではありませんでした。ただひたすら、練習で培った力を出し切ったのです。それが、逆転に繋がったのですね。本当にマイペースで自分の走りをする石川選手は、皆さんもテレビで見られた通りです。

ただ、淡々と自分の走りのできた裏には、日々の練習で培った力と自信があったからこそです。実力がないのに奇跡は起こりません。

次は、2位になった創価大学の榎木監督が、土壇場で逆転を許したアンカー小野寺選手に対して送ったコメントです。

「今日の悔しさを一生忘れることなく、今後の競技人生に生かしてほしい。卑屈になることはない。堂々としてほしい」。

そして同じく2位になった創価大学駅伝部主務の豊福さんのコメントです。豊福さんは、今大会出場した21チームで唯一の女性主務です。そして高校時代はバスケットボール部でガードのポジションを務めていたそうです。このコメントにも重みがあるように思います。

「大満足。練習以上の力が出せたというより、練習通りの力が出せたと思う。みんなが安定した力を出せれば、目標の総合3位に入れると思っていた」。

### 「バスケットボール全国高校選手権」

こちらは、仙台大明成（宮城）が大逆転で優勝しました。

最大で17点差、第4クォーター開始でも13点差をつけられる劣勢をひっくり返しての逆転は本当に見事なものでしたね。

前半は相手の高さを警戒するあまり、自分たちのリズムで攻撃できず、シュートがことごとく外れる展開でした。17点差がついた時は、佐藤監督も「諦めかけた」と思ったそうです。しかし選手は、練習してきたことを信じて、持ち前の強気の攻めを繰り返すことでリズムをつかみ、最後は逆転したのです。

私は、どのような状況においても、自分たちのスタイルを貫き通した選手へ、神様が大きな贈り物をしたように思えてなりませんでした。

敗れた東山高校、大沢監督のコメントです。

「頭が真っ白。成長しながら決勝戦まで来られたけど、日本一を前にしてプレッシャーにやられた」。

13点差あっても、今までリズムよく試合を進めていても、それを最後まで続けることがいかに難しいかを物語っています。

しかしこの試合で、私が一番感動したのは、東山高校ガード米須選手の最後のプレイです。米須選手は、終了間際に3点負けている状況で3ポイントシュートを放ち、ファールをもらいました。そしてフリースローを3本とも決め同点としました。あの絶体絶命の場面、プレッシャーのかかる場面で、フリースローを3本とも決める精神的な強さと高い技術。これこそ、日々の練習から常に高い意識を持ち、試合でのいろいろな場面を想定しながら練習に取り組んでいた証です。

いずれにしても、多くの感動を与えてくれた両チームに感謝したいものです。